

令和5年度第1回美波町障がい者計画及び障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定委員会
議 事 要 録

1 委員会名 第1回美波町障がい者計画及び障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定委員会

2 日 時 令和5年10月30日(月)午後1時30分～

3 会 場 美波町役場コミュニティホール

4 出席者 6名 委任状 12名

5 事務局出席者

(福祉課)大三課長、菖蒲主査、長谷事務主任

(株式会社ぎょうせい)2名

6 会議次第

1 開会

2 議 事

(1)役員選出

(2)計画の概要及び現状分析

(3)アンケート調査の結果

(4)スケジュール

(5)その他

3. 閉会

7 配付資料

・第1回障がい者計画及び障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定委員会次第

・美波町障がい者計画及び障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定委員会委員名簿

・美波町障がい者計画及び障がい福祉計画・障がい児福祉計画策定委員会設置要綱

・美波町ぬくもりハートプラン(美波町第4次障がい者計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画)策定について

・美波町第7期障がい福祉計画策定のための障がい福祉アンケート調査集計結果報告書

8 議事の経過

(1) 役員選出

事務局案により、委員長に粟田委員、副委員長に海善美加委員を選出。

(2) 計画のポイント及び現状分析～(5)その他

事務局により、配付資料に基づき説明。

■意見交換の概要

【利用実績について】

(委員) 令和5年度の利用状況はどのように算出しているのか。

(事務局) 令和5年度の4月1日～9月末の実績から出している。

(委員) 年度末には、倍の数値になるのだろうか。

(事務局) そのように考えられる。

(委員) 相談が増えている。少子化ではあるが、支援が必要な子どもは増えていると感じる。

【療育手帳について】

(委員) 療育手帳の所持者数は増えているか。また、把握できているか。

(事務局) 療育手帳の所持者は、令和5年度に入り新規で1人増えた。また、更新できていなかった方が2人程更新をしている。療育手帳を取得できる状態ではあるが、申請をしていない方も一定数いる。保健師を通じて、引きこもりの方などは把握しているが、介護する家族が高齢になった場合など、福祉サービスの利用を希望するタイミングで申請するケースもある。

(委員) 療育手帳の所持者数は増えていると聞かすが、当町では申請を行えばすぐに取得できるのか。

(事務局) 進路の選択肢を広げるため、中学校に上がるタイミングで取りに来られる方もいらっしゃる。極力、申請があった場合はスムーズに対応するようにしている。

(委員) 療育手帳の認定はどのように行っているのか。

(委員) 18歳以上であれば、基幹相談支援センターの職員から医師につなぐかたちになる。

(委員) 申請にあたっては、まず役場に相談いただき、認定審査は県から来た職員が阿南保健所で対応している。在学時は教員など支援者が多いが、学校卒業時にはそれがなくなるため、就職や福祉サービス利用等のタイミングで取得する方が多く、手帳所持者は20～29才の方が多くなる。

【アンケート調査について】

(委員) 町民アンケートの対象者は、無差別に選んでいるのか。

(事務局) 身体、療育、精神の手帳を所持している方全員に出している。

(委員) 半数程度回答があったとのことだが、自分の意見を話すことはできても、アンケートで記入するとなると大変なのかもしれない。

【阿南支援学校ひわさ分校について】

(委員) 阿南支援学校ひわさ分校には、子どもは何人くらいいるのか。

(委員) 15～16 人いるが、当町の子どものだけでなく、県外から施設に入所して通学している生徒も半数程度いる。小中学生のうち、地元の学校に通い、高校からこちらに入学する生徒も多い。

(委員) 阿南支援学校ひわさ分校の通学について、以前は送迎バスが運行していたが、生徒が減少した影響等で昨年からは送迎タクシーに変わった。まだ、不便な地域もあり、選択肢が広がればよいと思っているが、マンツーマンで手厚い支援をいただいている。

【保護者の方の意見について】

(委員) この委員会に、保護者の方がいれば、いろいろな意見を聞くことができるのではないか。

(事務局) 保護者の意見を聞くという機会はないが、個別に相談を受けた場合や、学校における進学相談、ケース会議等の中で意見を聞く機会はある。

(委員) 委員の中に保護者の方がいるが、本日は欠席されているようである。

以上。